

プログラミング教育に不可欠なコミュニケーション力

IT化が進む中、2020年度より小学校から高校までプログラミング教育が必修化されていることをご存じですか？
これからの時代を生きる子ども達にとって、時代のニーズに応えられるような資質や能力を早くからきちんと習得すべく、新学習指導要領が大きく変わりました。

文部科学省の定義によれば、プログラミング的思考は、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」と定義されています。

論理的思考が「物事のスタートからゴールまでの見通しを正しく理解する」のに対し、プログラミング的思考は「問題に気づき、解決の手段を考え、試行錯誤を繰り返し、改善を図る、という一連のプロセスを組み立てる」ところに違いがありますね。課題解決のための具体的な方法を理解し、トライ&エラーを積み重ねながら、



「どう改善したら良くなるのか」「次はどうすればいいか」を想像しながら成功までの道筋を積み上げていくプログラミング的思考が、やがて問題を解決する力の源となり、「生きる力」として子ども達に培われることを期待したいです。

プログラミング教育を通して論理的思考力が育まれても、それを相手に正確に伝える能力、プレゼンテーション能力が同時に育たなければ、いくら素晴らしいものをつくっても周りからの理解が得られません。

『Apple (アップル) 社』創業者のスティーブ・ジョブズが2007年に、初めてiPhoneを発表した際の「伝説のプレゼンテーション」は今もなお語り継がれています。とても気さくな雰囲気です。iPhoneをいじりながら自然体で話しているように見えました。ところが実は、この発表の時点では、iPhoneは完成には程遠い状態。電話の電波状況が悪く、インターネットの接続も不安定であったために、電波の基地局を発表会場近くに急遽新設したという裏話があるそうです。

そんな綱渡りの状況で発表されたiPhoneが、今や世界中で利用され、私達の生活を支える必需品になっているのは、スティーブ・ジョブズがこの未完成の試作機の魅力を堂々と伝え、人々の心を掴んだことが全てのスタートでした。

さて、日本の学校ではプレゼンテーションどころか伝わる話し方は習いません。「察し」の社会と言われてきた日本ですが、多種多様な人と関わり一緒に働くことが日常化していく中で必要なのは、「察する能力、不言実行の姿勢」ではなく、「論理的に思考して、正確に伝え相手の心を動かす能力」です。

しかし、人前で伝わらない、言いたいことがうまく表現できない、頭が真っ白になる。。などスピーチトレーニングの現場ではこうしたお悩みが山積しています。相手に伝わるための体系立てた学びの機会が学校にはないため、大人になっても苦手意識をお持ちの方が多いです。

「かきかた」という科目はあっても「はなしかた」は存在しない日本の学校教育ですが、全国でも大変珍しいケースで、東京都立王子総合高校で声磨き・スピーチトレーニング授業を担当して11年目になります。相手がイメージを広げやすいように、わかりやすく具体的に話すための配慮が無かったり、相手にわかりやすく説明することに苦手意識を持つ生徒が年々増加していることが気がかりです。

自分を知らない人や自分と違う人とは交流したがない現代の若者特有の他人を理解する・思いやる経験の乏しさに起因していると考えています。



話を出来るだけ省略してシンプルに話して楽しく終わろうとする彼らに「すぐに、簡単、手間要らず、の“喋りのコンビニ化”はダメ！」と、相手にわかりやすく伝わるための努力の仕方をパターン化し、日々繰り返しています。

プログラミング教育の話題から伝える力にまで話は発展しましたが、情報化時代に対応するための教育にもやはり、**コミュニケーションの源、相手を慮る心**を幼少期から育てることが不可欠ですね。

健康声磨き講座、全国各地でリアル続々再開！

相次ぐ緊急事態宣言の発令に伴い、コロナ感染拡大を懸念して長らく各地で開講延期が続いていましたが、ようやくリアル講座・講演が再開し始めました！講座の再開を心待ちにしていた、という受講生からのお声が本当に多く、嬉しい限りです。実に1年ぶりに各地のカルチャースクールを皮切りに、公共施設でもじわりじわりと健康声磨き講座が再開し始めています。With コロナ時代の健康声磨き講座は、施設の最も広い教室を使用し、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施しています。マスクをしながらの声磨きですが、コロナ禍で日頃人と話せなかったことによる溜まっていたストレスを発散し、あっという間の90分でパワーアップされていました！

参加者に受講理由を聞くと、このようなお悩みが浮き彫りとなりました。

■一人暮らしで普段から話すことがなく、さらにこのコロナ禍で声の衰えやかすれが加速してしまった…

■声やのどの異変を感じ、医者にも行って見たが、声帯が閉まりきっていないことがわかり、

「これはトレーニングしかないね」と言われたがどうやってトレーニングをすれば良いか分からなかった…

■日に日にむせやすくなっているのが誤嚥が心配…

■身近な知り合いでのどの衰えにより亡くなった人がいるので、次は自分ではと、とても怖くなった…

また、このような状況下だからこそ、誤嚥予防に効果的な健康声磨き講座への注目も高まり、嬉しいことに全国各地で今秋から続々と新設講座が開講となりました。

認定インストラクター達が
大活躍しています！

全国各地で続々と開講中！

<東京都>

よみうりカルチャー北千住 / よみうりカルチャー金町 **NEW**

<埼玉県>

さいたま市シニアユニバーシティ

<神奈川県>

横浜市神奈川区 PTA 連絡協議会 **NEW**

<京都府>

大阪よみうり文化センター京都センター **NEW**

<大阪府>

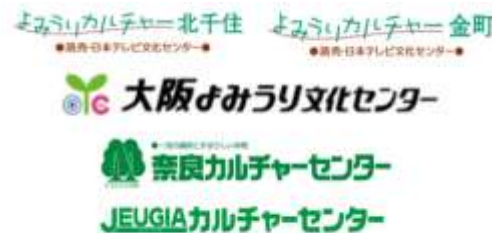
大阪よみうり文化センター高槻センター **NEW** / 大阪よみうり文化センター天満橋センター **NEW**

岸和田市老人クラブ連合会 **NEW** /

<奈良県>

奈良カルチャーセンター **NEW** / JEUGIA カルチャーセンターイオンモール橿原 **NEW**

今後もさらに地域を拡大して新規開講が予定されていますので、ご期待ください！



(株)ボイスクリエーションシュクル <https://vcsucre.com>
(一社)日本声磨き普及協会 <https://koemigaki.com>



〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町 1-15-1 エスプリ浦和 103/201
TEL: 048-829-9624 FAX: 048-829-9634 メール: info@vcsucre.com